

自家発821人、可搬形443人が合格

平成26年度専門技術者講習・試験

図1. 自家発新規合格者が取得した業務区分の組合せ

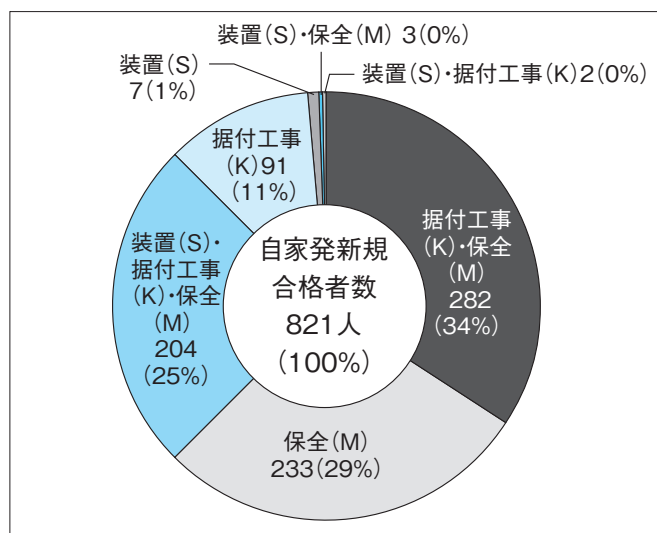


図3. 業務区分追加合格者が取得した業務区分の組合せ

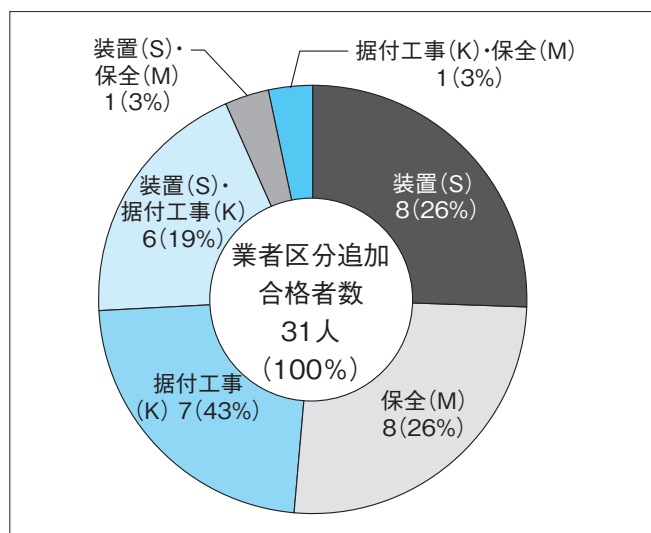
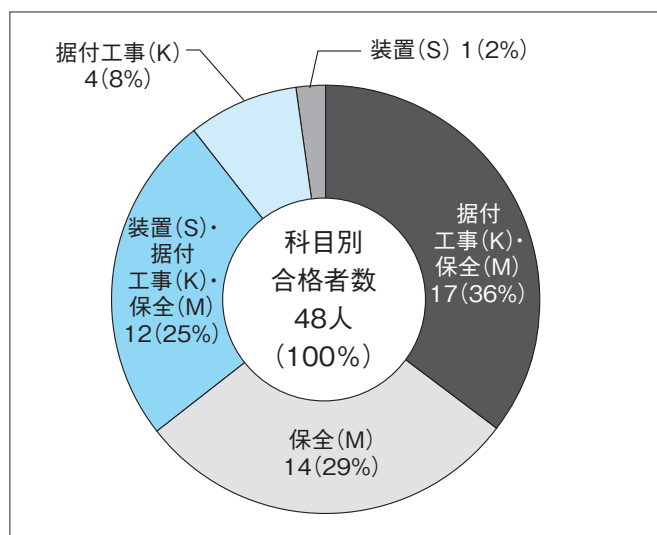


図2. 科目別合格者が取得した業務区分の組合せ



自家発専門技術者の業務区分の組合せ

業務区分取得の組合せは下記の7通りがある。

1. 装置部門 (S)・据付工事部門 (K)・保全部門 (M) の3部門
2. 装置部門 (S)・据付工事部門 (K) の2部門
3. 装置部門 (S)・保全部門 (M) の2部門
4. 据付工事部門 (K)・保全部門 (M) の2部門
5. 装置部門 (S) の1部門
6. 据付工事部門 (K) の1部門
7. 保全部門 (M) の1部門

内発協では、11月28日に開催された自家用発電設備専門技術者審査委員会の審査結果に基づき、12月1日付けで平成26年度専門技術者講習・試験の合格者を決定した。

自家発専門技術者の新規合格者が取得した業務区分の内訳をみると、装置部門 (S)・据付工事部門 (K)・保全部門 (M) の全3部門のうち、据付工事 (K) 部門と保全部門 (M) の2部門の取得者が34%を占め最

も多かった。次に保全部門 (M) の1部門のみ。装置部門 (S) と据付工事 (K) 部門と保全部門 (M) の全3部門の取得者と続いた。

受験者について「電気工事業」または「保守・修理業」に従事する者が多かったため、据付工事 (K) と保全部門 (M) の両方の取得者が多かったものと推測される。

可搬形専門技術者について合格者は据付工事部門 (K) と保全部門 (M) の受験及び取得業務区分となる。

図4. 業種別の自家発新規合格者数

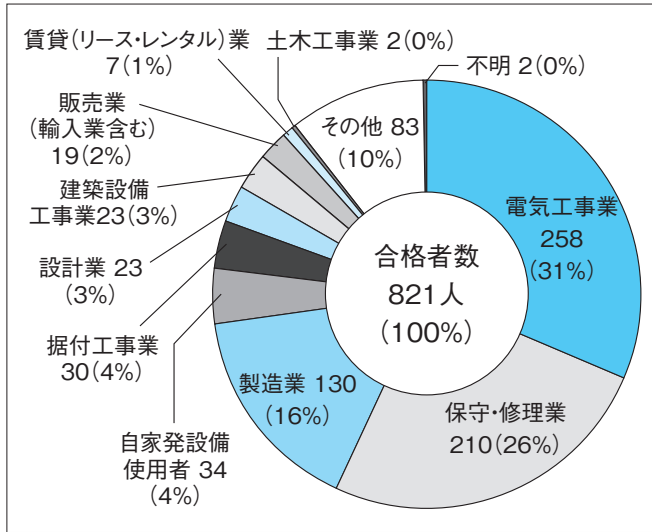


図6. 会場別の自家発新規合格者数

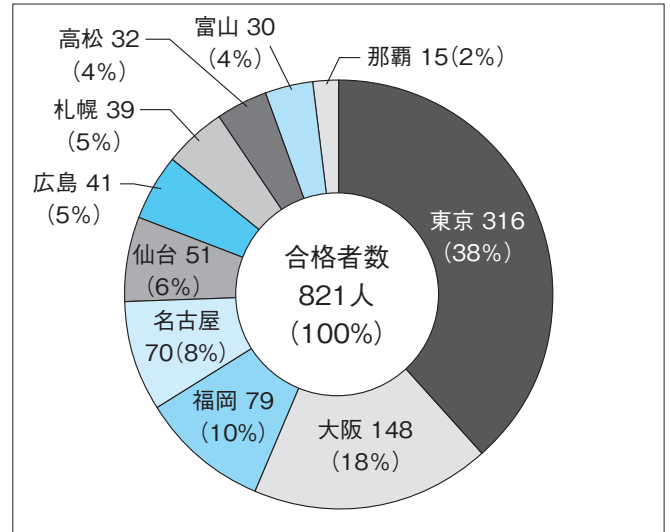
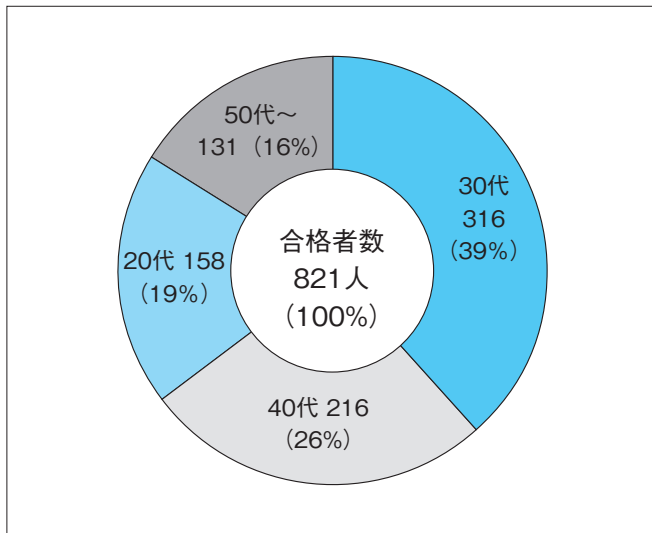


図5. 年齢別の自家発新規合格者数



新規合格者数は、自家用発電設備専門技術者（以下、自家発専門技術者）が受験者956人の内821人、可搬形発電設備専門技術者（以下、可搬形専門技術者）が受験者485人の内443人、合計1,264人となった。合格者数を昨年度実績（1,415人）と比較すると、受験者数の減少に伴い、自家発専門技術者は約11%減少、可搬形専門技術者は約10%減少し、合計では約11%減少した。

科目別48人、業務区分追加31人

新規受験者の講習・試験と併せて実施された、次年度に特定科目を再受験する「科目別受験」では48人が、資格保有者が未取得の業務区分を受験する「業務区分追加受験」では31人が合格した。

科目別受験とは、前年度に受験科目の一部が合格点に達しなかったために合格できなかった者が、次年度に合格点に達しなかった、その科目のみを再受験する制度である。

業務区分追加受験とは、既に専門技術者の資格を保有している者が、業務区分に新たな区分を追加する目

的で受験する制度である。

業種別

また、業種別にみると、自家発専門技術者では「電気工事業」または「保守・修理業」に従事する者が全体の約6割を占めた。次に「製造業」が続く、この傾向は例年どおりであった。

可搬形専門技術者については「土木工事業」に従事する者が圧倒的に多く過半数を超えた。次に「賃貸(リース・レンタル)業」、「その他」、「建築設備工事業」が続いた。

年齢別

年齢別に合格者をみると、自家発専門技術者では昨年度に引き続き30代が最も多く約4割を占めた。次いで40代、20代、50代以上の順であった。40代の合格者割合が減少(昨年度実績比5%減)し、50代以上(同2%増)及び20代(同2%増)が増加した。

可搬形専門技術者では40代が最も多く約4割を占めた。次に30代、50代以上、20代の順であった。40代の合格者割合が増加(昨年度実績比8%増)し、30代(同5%減)、20代(同3%減)が減少した。自家発専門技術者の結果とは傾向が異なっている。「土木工事業」等の業種では40代の従事者層が増えているものと推測される。

会場別

全国10か所の会場別に合格者をみると、自家発専門技術者では受験者数が最も多かった東京会場が全体の約4割を占めた。次いで大阪、福岡、名古屋の順。昨年度と比較して、名古屋が減少し、福岡と順位が逆転した。

可搬形専門技術者については東京が約3割を占め最も多く、次いで、大阪、福岡、名古屋の順。大阪、福岡での合格者数が増えた。

図7. 業種別の可搬形新規合格者数

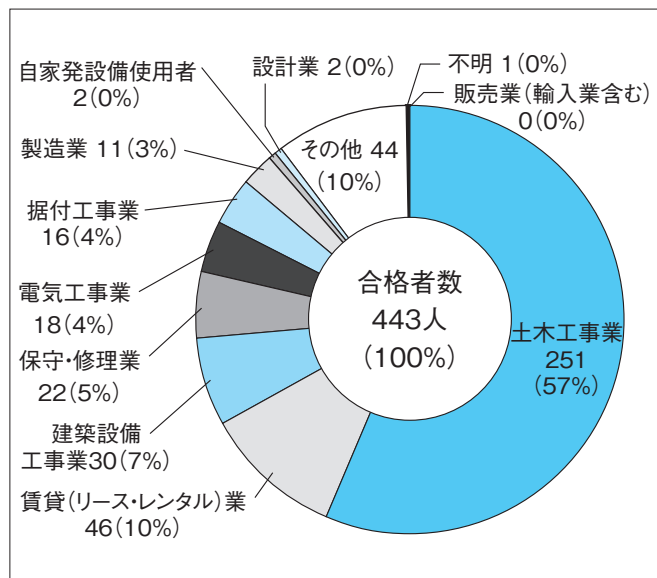


図9. 会場別の可搬形新規合格者数

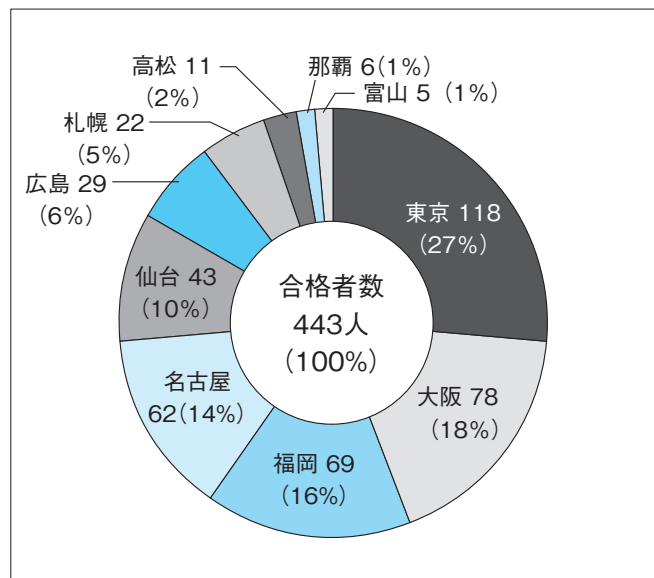
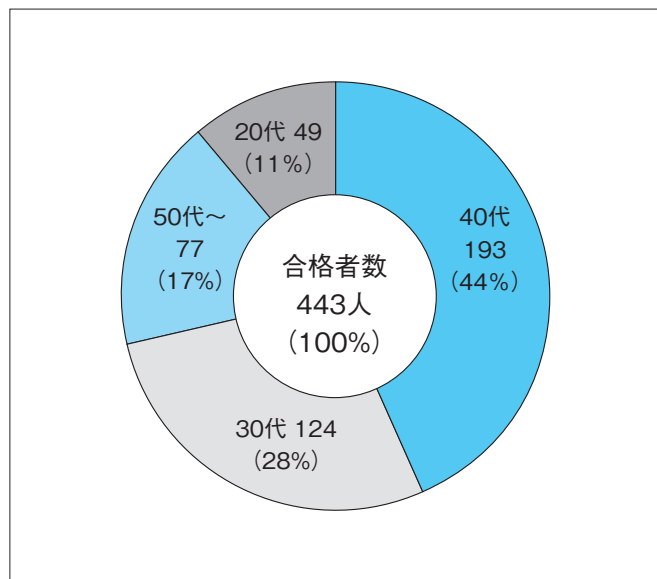


図8. 年齢別の可搬形新規合格者数



9月19日、広島会場での自家発講習・試験